



いちご いちえ ichigo 一笑

No. 11



発行：鹿沼市教育委員会生涯学習課 ☎63-3498・学校教育課 ☎63-2236

令和6年
8月発行

鹿沼市 地域学校協働活動&コミュニティ・スクールだより



コミュニティ・スクール



(「学校運営協議会」を設置した学校のこと)

令和6年度で2年目3年目4年目6年目を迎えるそれぞれの学校運営協議会があり、重ねた年数と共にその運営も学校・地域によってさまざまです。学校運営に関わる課題について各立場の委員さんの熱心な話し合いは勿論のこと、さらに部会を通して活動に参加する協議会もありさまざまです。今年度も昨年に引き続き、協議会の運営や参加に不安・疑問を感じている方々を対象とした研修会を「とちぎ市民協働研究会」代表理事廣瀬隆人先生(元宇都宮大学教授)や上都賀教育事務所ふれあい学習課の方々のご協力を得て実施したり、関係団体からの求めに応じて「コミュニティ・スクールについて」等の出前講座を生涯学習課と学校教育課合同で開催したりしています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



7月30日研修会

テーマ「学校運営協議会の進め方」

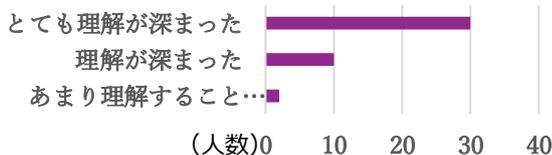
講師:廣瀬 隆人 氏 (とちぎ市民協働研究会代表理事)



全体会のあと学校運営協議会の委員さん(市民グループ)と教頭(教頭グループ)に分かれ、それぞれの立場での本音や悩み、不安を素直に出し合い、最後に廣瀬先生よりそれらの解消や考え方についてお話をいただきました。

◆学校運営協議会や地域学校協働活動

に対する理解が深まったか(当日アンケート)



✦参加者の声✦

教頭...一言でとても楽しかったです。廣瀬先生がとてもわかりやすく私たち教頭の悩みをひとつひとつ解決していただき、とても気が楽になりました。

市民...学校側と地域との意思疎通が大切だと思った。誰かの何かのせいにせず本音をぶつけて話をするべきだと思った。



～コミュニティ・スクール(CS)と地域学校協働活動の一体的推進について～

今年、夏祭り(盆踊り・納涼祭)が復活した地区が増えてきました。以前は学校の校庭で学校や育成会などが主催していた夏祭りが、学校運営協議会でその運営について話題にのぼり地域で実行委員会が組織され開催されました。栗野地区では、実行委員会が中学校にボランティア生徒募集を依頼し学校は名簿を取りまとめ、あとは実行委員会とボランティア生徒との打合せ・練習等を行い、当日を迎えました。「地域に子どもたちを預ける」というこれまでよりも一歩踏み込んだこのような取り組みが一体的推進の在り方であると思います。



地域学校協働活動

(地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことで「地域連携」ともいう)

今年もたくさんの活動が行われています。
地域の皆様、調整くださった地域コーディネーターの方、
学校の先生方、ありがとうございます。
活動のほんの一部をご紹介します。



板荷中:草刈り



みどりが丘小:体カテスト



さつきが丘小:家庭科ソーイング



菊東小:クリーン活動



加園小:自然観察



西中:手話教室



みなみ小:自然観察



中央エリア

CENTRAL AREA

中央小:給食配膳



津田小:図書室利用



東部エリア

EASTERN AREA

東小等:ワクワクおもしろ教室
(放課後子ども教室)



南部エリア

SOUTHERN AREA

石川小:新体カテスト



永野小:花壇活動



上南摩小:書道



池ノ森小:お囃子



楡木小:読み聞かせ



清一小:いちご摘み



南押原小:交通安全教室



南押原中:着付け教室



南摩中:お囃子



粟野中:バラボランティア

